

信時 潔 作曲／北原白秋 作詞

こうせいきょく

交声曲

海道東征

かいどうとうせい

モーツァルト：交響曲第41番ハ長調「ジュピター」

信時 潔：交声曲「海道東征」

[指揮] 北原幸男

[管弦楽] 東京交響楽団

[合唱] 武蔵野音楽大学合唱団
(合唱指揮：栗山文昭、片山みゆき)

[児童合唱] 武蔵野音楽大学附属音楽教室生徒
※やむを得ない事情により出演者・曲目を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



平成30年

12月19日(水)

19時開演(18時30分開場)

東京芸術劇場コンサートホール

[主催] 株式会社ぶらう

[協賛] SMBC日興証券株式会社／三起商行株式会社／株式会社学習院薬々会／
ダクタリ動物病院



[指揮]
北原幸男



[ソプラノ]
澤畑恵美



[ソプラノ]
盛田麻央



[メゾ・ソプラノ]
田村由貴絵



[テノール]
与儀 巧



[バリトン]
原田 圭

入場料(全席指定、税込)

S席:8000円／A席:7000円／B席:4000円／C席(学生席)一般販売いたしません

[9月1日(土)AM10:00発売] ※未就学児童入場不可

チケット発売所

チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード:126-737)

ローソンチケット 0570-000-407 (Lコード:32032)

[お問い合わせ先] 日本アーティストチケットセンター TEL.03-5305-4545 <http://nipponartists.jp>

北海道東征

日本建国の神話を格調高く描いた世界に誇る名曲、交声曲「海道東征」は、1940年(昭和15年)の「皇紀2600年奉祝行事」のために書かれました。当時山田耕柁らとともに日本の洋楽の礎を作った作曲家・信時潔(1887~1965)によるこの大作、歌詞は「日本書紀」や「古事記」の記述をもとに詩人・北原白秋が手がけました。管弦楽、独唱、重唱、合唱が見事に組み合わさったこのカンタータ(交声曲)は、「国産み」から神武東征まで吟ずる8章からなります。戦後封印されてきたこの名曲は、信時潔没後50年の2015年秋、大阪公演、翌16年秋の再演を含め大好評となりました。さらに17年4月の東京フィルハーモニー交響楽団公演でも好評を得て、この公演に至りました。わが国では、ベローヴェンの交響曲第9番が年末に公演されることがひとつの風物詩となつていますが、成熟した平成の御代に日本人による日本人のための信時潔の交声曲「海道東征」を静かに楽しむことを日本文化の再評価の環として、また年末恒例の文化事業として根づかせていきたいものです。



信時 潔(のぶとき きよし) 写真提供: 信時 裕子

第1章 高千穂(たかちほ) 天地創造 日向・高千穂への称賛、カムヤマトイハレヒコノミコト(後の神武天皇)の東征決意

第2章 大和思慕(やまとしほ) 出帆前、大和への憧れ 古事記「大和は国のまほろば」からの引用

第3章 御船出(みふなで) 日の出、満ち潮、日向・美々津港からの出帆 東征の始まり

第4章 御船語(みふなうた) 旅の安寧を祈る「祝詞」 掛け声と船謡調の掛け合い

第5章 速吸と菟狭(はやすいととさ) わらへ眼風の児童合唱が速吸(大分)と愛媛の間の佐賀関海峡での古の物語を、民は中世歌謡風の歌で菟狭(宇佐地方)に上陸した一行を歓待する

第6章 海道回顧(かいどうかいこ) 宇佐の滞在ののち、筑紫の国、安芸の国、吉備の国を経て目指す、東への長き旅路

第7章 白肩の津上陸(しらかたのつじょうりく) 河内の国、白肩之津への上陸、豪族・長髓彦との戦闘

第8章 天業恢弘(てんぎょうかいこう) イハレヒコは大和の権原で天皇に即位する。三種の神器への賛歌、日本の建国を讃える情景

モーツァルト

交響曲第41番
ハ長調 K.551「ジュピター」

モーツァルトの3大交響曲の一つで、モーツァルトが32歳の時に書いた最後の交響曲。ギリシャ神話の最高神「ジュピター」の愛称は、作曲者自身が付けたものではなく、後年プロデューサーによって付けられたが、この作品のギリシャ的な雰囲気とスケールの大きさを表している。

指揮者 北原幸男 YUKIO KITAHARA



尺八奏者二代目北原篁山の長男として生まれる。桐朋学園大学卒業後、インスブルック・チロル歌劇場専任指揮者、ドイツ・アーヘン市立歌劇場音楽総監督を歴任し、世界各地の40以上のオペラハウス、オーケストラに客演。国内でもNHK交響楽団、東京交響楽団、新国立劇場、びわ湖ホールなどのオペラ公演を指揮し高い評価を得ている。ショスタコーヴィチ交響曲などの多くのCDをリリース。プラハの春国際コンクール第3位入賞。グローバル音楽奨励賞、下総院音楽賞受賞。現在、宮内庁楽部洋楽指揮者、武蔵野音楽大学教授。埼玉県富士見市文化芸術アドバイザー。

管弦楽 東京交響楽団 TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA



1946年創立。現代音楽の初演などにより、これまでに文部大臣賞、京都音楽賞大賞、毎日芸術賞、文化庁芸術作品賞、サントリー音楽賞、川崎市文化賞等を受賞。定期演奏会の他、川崎市、新潟市、八王子市と提携し、コンサートやアウトリーチ活動を展開している。新国立劇場でも、毎年オペラ・バレエ公演を担当。2016年ウィーン楽友協会を含むヨーロッパ5カ国で公演を行い各地で好評を得た。

チケット 9月1日(土)AM10:00発売

- ◆チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード:126-737)
- ◆ローソンチケット 0570-000-407(Lコード:32032)

お問い合わせ

- ◆日本アーティストチケットセンター 03-5305-4545
<http://nipponartists.jp>

会場へのアクセス

